

研究課題名	当科における熱傷患者の予後予測の検討
研究の意義・目的	本邦では従来からPBI(Prognostic burn score)が予後予測推定因子として使用されてきました。一方で海外では他の予後予測因子が使用されており、世界的に一定の見解がない状態です。近年、本邦でもPBI以外の因子が有用であることを示唆する報告もあります。正確な予後予測は患者様に適切な医療を提供するために必要であり、当院の患者データを用いてどの予後予測因子がより有用であるかを明らかにすることを目的とします。より有用な普遍的な予後予測因子を決定することが今後の熱傷診療の発展につながると考え、本研究がそれに貢献できると考えます。
研究を行う期間	機関の長の実施許可日 ~2026 年 12 月
研究協力を お願いしたい方 (対象者)	2015年1月~2024年10月の間に大阪公立大学医学部附属病院救命救急センターに入院した熱傷患者
協力をお願いしたい 内容と研究に使わせ ていただく試料・情 報等の項目	診療の過程で得られた下記項目を本研究に使用させてください。 ① 患者基本情報：年齢、性別 ② 熱傷情報：熱傷面積、気道熱傷の有無 ③ 転帰：入院中の死亡
試料・情報を 利用する者の範囲 および管理について 責任を有する者の 研究機関の名称	この研究は、公立大学法人大阪 大阪公立大学大学院医学研究科救急医学のみで行います。 【研究責任者】松尾 健志
個人情報の取り扱い	この研究にご参加いただいた場合、あなたから提供された診療情報などのこの研究に関するデータは、すぐには個人を特定できない形式に記号化した番号により管理されます。 この研究から得られた結果が、学会や医学雑誌などで公表されることはあります。このような場合にも、あなたのお名前など個人情報に関することは含まない形で公表されます。
本研究の 利益相反	利益相反の状況については研究者等が利益相反マネジメント委員会に報告し、その指示を受けて適切に管理します。本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
研究に協力を したくない場合	診療情報が当該研究に用いられることについてご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも不利益を受けることはありません。
連絡先	大阪公立大学医学部附属病院 救命救急センター 担当者氏名：松尾 健志 電話番号：06-6645-3987